

在宅医療連携拠点事業CosmicLink活動新聞

在宅医療連携拠点事業Cosmic Link事務局

平成27年度在宅医療連携拠点事業報告

地域住民が住み慣れた地域で生活することを支えるためには、医療・介護にまたがる様々な支援を提供する必要があります。地域の医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、ケアマネジャーなどの医療・介護にかかわる多職種協働による在宅医療の支援体制を構築し、地域における包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指すことを目的とした事業です。

真誠会では、平成24年度、厚生労働省が全国で事業実施した「在宅医療連携拠点事業(復興枠)」を受託し、事業を推進してまいりました。

平成25年度から平成27年度の3年間、鳥取県の地域医療再生基金事業として引き続き在宅医療連携拠点事業を実施いたしました。この事業は県内の5団体(鳥取大学医学部付属病院、米子医療センター、博愛病院、にしまち幸朋苑、医療法人真誠会)で展開されました。

在宅医療連携拠点事業Cosmic Linkの事業計画

在宅医療連携拠点事業Cosmic Linkでは、平成24年度事業実施した6つのタスクに新たに1つのタスクを加えた7つのタスクについて活動を行いました。

タスク1 多職種連携の課題に対する解決策の実施

地域の在宅医療に関わる多職種による学習会、症例検討会を実施し、連携上の課題を抽出するとともに、課題となっている事項に関する検討を行います。

- ・在宅医療連携拠点推進会議への参画

タスク2 在宅医療従事者の負担軽減の支援

24時間365日の在宅医療・介護提供体制の構築を図ります。

- ・認知症を早期に支援するための活動の展開
- ・チームしんせいによる包括ケアチームカンファレンスの定期開催

タスク3 効率的な医療連携のための多職種連携

地域の医療・福祉資源の有効活用を図ります。

- ・平成27年度版「医療連携ガイド」の作成

タスク4 在宅医療に関する地域住民への普及啓発

公開講座や勉強会を開催します。

- ・地域包括ケアシステムについての講演
- ・地域ケア会議の立ち上げ
- ・災害時の炊き出し実演

タスク5 在宅医療に従事する人材育成

多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業へ参画します。

- ・実習の受け入れ
- ・実習生の満足度調査

タスク6 災害発生時に備えた対応策の検討

災害時の在宅医療に必要な連携体制と備品整備を行います。

- ・防災拠点としての体制整備
- ・放射線防護対策設備稼働訓練の実施

タスク7 高齢者に適応する地域モデルの確立

地域包括支援センターとの協働による「地域包括ケアシステム」の構築を図ります。

- ・認知症に関する企業アンケートの実施
- ・オレンジカフェから地域ケア会議への展開



(平成26年度)公民館人生大学



(平成26年度)鳥取県原子力防災訓練

平成27年度活動報告

タスク1 多職種連携の課題に対する解決策の実施

●在宅医療連携拠点推進会議への参画

鳥取大学医学部附属病院が中心となり、鳥取県西部で事業を展開している鳥取大学医学部附属病院、米子医療センター、博愛病院、真誠会の事業関係者、医療、福祉、行政などの関係者による会議が開催され、各機関での事業実施状況や今後の取り組みについて情報共有を行いました。

タスク2 在宅医療従事者の負担軽減の支援

●認知症を早期に支援するための活動の展開

真誠会認知症パイロット事業として活動を行いました。14名の対象者(平成28年2月現在)に対し、サービスや受診につなぎ、継続的に支援を行っています。

また平成28年1月から、行政、米子市認知症地域推進支援員、認知症サポート医、地域包括支援センターによる「弓浜地域認知症事例検討会」を月1回定期開催し、認知症の方を地域で支援する体制の構築を進めています。

●チームしんせいによる包括ケアチームカンファレンスの定期開催

地域包括ケアシステムの真誠会モデル・チームしんせいによる包括ケア会議の継続展開を行い、多職種のチームによるケアを実践しました。

タスク3 効率的な医療提供のための多職種連携

●平成27年度版「医療連携ガイド」の作成

関係機関のご協力のもと平成27年度版(第5版)「医療連携ガイド」を平成28年3月発行、在宅医療連携拠点事業Cosmic Linkホームページに更新掲載予定です。

平成27年度版では「医療機関(かかりつけ医病院)」「(米子医療センター登録分:平成24年9月28日現在)の情報の更新を行いました。

タスク4 在宅医療に関する地域住民への普及啓発

●地域包括ケアシステムについての講演

・第11回弓浜助け合いネットワークの会

テーマ「急がれる地域包括ケアシステム、地域ケア会議の構築」

平成27年11月29日(日) 弓浜ホスピタウン

講演「地域包括ケアと医療福祉の自給自足」

講師:医療法人・社会福祉法人真誠会 理事長 小田貢

地域における地域ケア会議やネットワーク構築などの取り組みについて発表、意見交換を行いました。弓浜地域や米子市内から約300人の来場がありました。



●地域ケア会議の立ち上げ

和田町、河崎御建地区で地域住民と協働し、地域ケア会議の立ち上げを行いました。



●災害時の炊き出し実演

平成27年11月1日(月)真誠会介護の日イベントにて災害時の炊き出しの実演を行いました。



タスク5 在宅医療に従事する人材育成

●実習の受け入れ

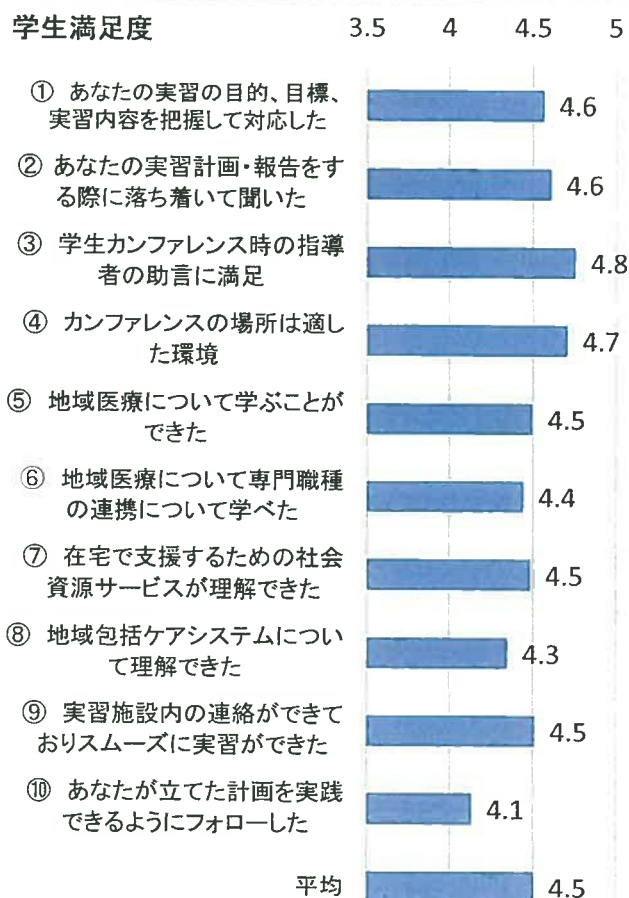
チーム医療に関わる人材育成のための実習受け入れを継続しています。

- ・鳥取大学医学部保健学科看護学専攻
- ・鳥取大学医学部医学科4年次
- ・鳥取大学医学部医学科1年次早期体験学習
- ・米子北高等学校看護専攻科2年生
- ・米子医療センター附属看護学校3年生
- ・鳥取県看護協会「訪問看護職員養成講習会実習」
- ・福岡看護専門学校 など

●実習生の満足度調査

真誠会施設の臨地実習を受けた学生に実習終了後に満足度調査を行いました。

「あなたの実習の目的、目標、実習内容を把握して対応した」「学生カンファレンス時の指導者の助言に満足できた」「地域医療について学ぶことができた」など10項目についてアンケートを行い、学生満足度は5段階評価で4.5でした。



●認知症キャラバンメイト、認知症サポーターの養成

平成25年度より真誠会の認知症キャラバンメイトが中心となり、認知症サポーター養成講座を開催しています。平成27年度には新たに真誠会職員58名が認知症サポーターとなりました。平成25年度からの取り組みにより626名(真誠会職員502名、地域住民124名)の方が認知症サポーターとなりました。

今後も認知症サポーター養成講座を継続的に開催していきます。

タスク6 災害発生時に備えた対応策の検討

●防災拠点としての体制整備

真誠会では米子市と防災協定を結んでおり、米子ホスピタウン(米子市河崎)、弓浜ホスピタウン(米子市大崎)が災害時の防災拠点となっています。これらの施設では1週間分の水分、食品の備蓄を整備するとともに、地域と協働し防災訓練を実施しています。

●放射線防護対策設備稼働訓練の実施

原子力災害発生時における避難施設として施設設備の整備を行った弓浜ホスピタウンにて、平成27年11月30日(月)原子力災害発生を想定した訓練を実施しました。

訓練後には、課題分析を行い、実施内容とともに報告書にまとめました。

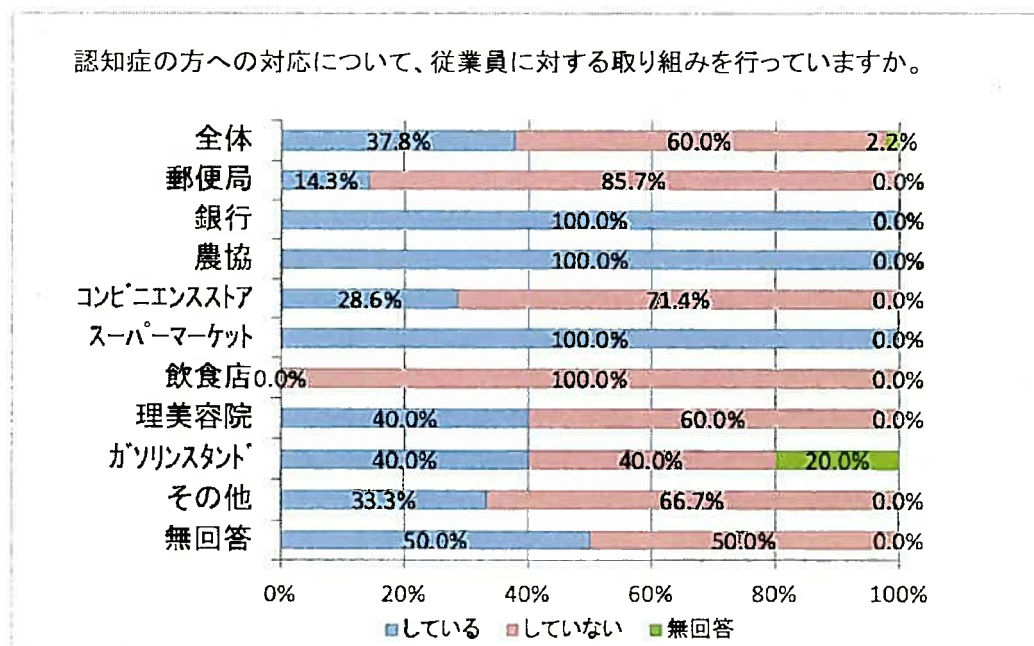


タスク7 高齢者に適応する地域モデルの確立

●認知症に関する企業アンケートの実施

米子市弓浜地域包括支援センターと共同で弓浜地域(彦名町、夜見町、富益町、崎津、和田町、大篠津町)の地域企業(銀行、郵便局、飲食店、コンビニエンスストア等)123店舗を対象に認知症に関する意識や現状について把握するためのアンケートを実施しました。

回収率は36.6%でした。



●オレンジカフェから地域ケア会議への展開

6拠点のオレンジカフェの展開をととした地域包括ケアシステムの推進に努め、河崎オレンジカフェから地域ケア会議の開催につながった。



河崎オレンジカフェ



8月 地域交流会



9月 第1回地域ケア会議

今後の取り組み

●住民への啓発

イベントや地域住民の集まる場などで「もしもの時の安心手帳」の活用も含めた啓発活動を継続していく。

●人財育成

今後も、医師・看護師・介護士の養成校からの実習受け入れを継続し、地域包括ケアシステムの中の専門職の役割を実習で体験することで理解を深めていく。

●認知症への取り組み

- ・認知症の早期発見、支援について認知症サポート医(真誠会セントラルクリニック院長 小田貢)に相談し、連携を図りながら取り組みを継続していく。
- ・弓浜地域認知症事例検討会を継続して定期開催するとともに、弓浜地域の居宅介護支援事業所、介護保険サービス事業所、医療機関等へ検討会の周知を行い多機関、多職種で支援する体制を構築する。
- ・地域住民や企業を対象とした認知症サポーター養成講座を開催し、住民が住みなれた地域で暮らすための地域のサポートについて意識を深める。

●医療連携ガイド

今後も定期更新を行い、関係者への広報や随時見直しを行い、活用できるツールとして継続して展開していく。

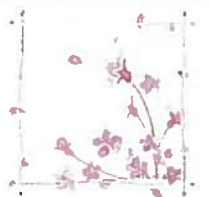
●災害時の対応

- ・原子力災害発生時における避難施設として整備の稼動訓練を継続するとともに、実際の事故発生を想定した利用者の避難を含めた訓練を実施する。
- ・平成28年度は米子中央ホスピタウン(米子市西福原)についても防災拠点として米子市と防災協定を結んでいきたい。

今後、真誠会の6拠点が、認知症、支え合い・助け合い、防災拠点など多機能の拠点となるよう展開を行う。

平成24年度から平成27年度まで4年間、在宅医療連携拠点事業を展開してまいりました。関係機関の皆様にはご支援、ご指導をいただき、ありがとうございました。

各取り組みは今後も継続して行っていくしますので、引き続きご支援、ご指導いただきますようお願いいたします。



在宅医療連携拠点事業Cosmic Link 【事務局】真誠会医療福祉連携センター

〒683-0852 鳥取県米子市河崎580

電話 0859-24-5557

FAX 0859-24-2369

E-Mail renkeicenter@hospitown.or.jp

HP : <http://renkeikyoten.main.jp/>

